

うらおそい歴史新聞



第38号

浦添貝塚と伊祖の高御墓 〜浦添大公園内の文化財〜

市民、県民に親しまれている浦添大公園ですが、公園のなかにも文化財があります。公園内にある浦添貝塚と伊祖の高御墓は、いずれも沖縄県指定文化財です。今回はこの二つを紹介します。

○浦添貝塚

浦添貝塚は、浦添グスクから伊祖グスクにかけて伸びる石灰岩丘陵の北西、標高約七〇メートルの崖下にあります。この貝塚は、縄文時代後期から晩期の遺跡



【浦添貝塚】（県指定史跡）

市来式土器の南漸や奄美系土器の出土など周辺地域との関連を知る貴重な遺跡であるとして1972年に沖縄県の史跡に指定されました。現在、遺物の一部は「浦添市歴史にふれる館」に展示しています（地図裏面）。

で、約四千年前の土器や石器が出土しています。一九五九年に発見され、一九六九年と一九七〇年に浦添高校郷土史クラブらにより発掘調査が行われました。

遺物は、土器を主体とし、貝製品、骨製品、石皿、石斧などが出土しました。本貝塚で特に注目されるのは、九州縄文後期に位置づけられる市来式土器が検出されたことです。この発見によって、縄文時代の九州と沖縄の間に交流があったことがわかりました。

一九七一年に、国道三三〇号建設工事に伴って壊されることになっていましたが、沖縄考古学会を中心とした保存運動によって、貝塚の下にトンネルを通すことで保存されることになりました。

○伊祖の高御墓

（古波蔵）

浦添貝塚の位置する丘陵には古代人が住居として使用していたと思われる洞穴が多く見られ、古代浦添の歴史・文化を知るうえで重要な地域であるといわれています。

伊祖の高御墓は、その崖上、国道三三〇号（バイパス）の眼鏡トンネルの上に位置しています。崖中腹の洞穴の前面を相方積みにし、墓口をアーチ形にした崖

葬墓で、墓口が広いことから比較的古い型式の墓であると考えられています。この形式の墓は、県内にいくつもありますが、伊祖の高御墓はその典型的なものとされ、沖縄の墓の変遷過程を解明する上で貴重なものとして、一九七二年に県の有形文化財（建造物）に指定されました。

地元では「タカウフアカ」と呼ばれ、伊祖集落の恵祖世主（えそよのぬし）の子孫と云われる安里門中によって手厚く祀られています。また、別名「按司御墓」とも呼ばれ、伊祖グスクを中心とした勢力のあった三人の按司が眠っているとも伝えられています。墓室内には石厨子一基と壺形厨子二基が安置されているといわれています。

伊祖の高御墓も浦添貝塚と同様に一九七一年のバイパス工事の際に取り



【伊祖の高御墓】（県指定建造物）

浦添大公園隣の伊祖公園内に位置する英祖王ゆかりの伊祖城跡（県指定史跡）に来た際には少し足を伸ばしてあわせてご覧ください。

壊される危機に直面しましたが、沖縄考古学会や地域の保存運動が実を結び、墓の下がトンネルに設計が変更され、保存されることになりました。（山田）

《おもろの碑》紹介 宝庫のとびらを開いた察度王 〜牧港漁港の碑〜

「おもろ」は琉球の古謡です。浦添の歌もあり、市内一〇カ所に「おもろの碑」として石碑を建立しています。今回は牧港漁港の碑を紹介します。

ぢやなもひや たがなちやるくわが
こがきよらさがみぼしや あるよな
又 ももぢやらの あぐで おちやる
こちやぐら ぢやなもいしゅ あけたれ
又ぢやなむいが ぢやなうえばる のぼ
て けやげたるつゆは つゆからだ か
ばしやある。

「ぢやなもい」は察度王の童名です。このおもろは、莫大な利益をもたらす中国との進貢貿易に成功した察度王をほめたたえた者です。このような偉業を成し遂げた「ぢやなもい」は誰が産んだ子か、こんなにも美しい、こんなにも見たいものだと謡い上げています。

察度王の使者は、泉州から皇帝のいる北京まで進貢の旅をしました。この石碑は泉州市と浦添市との友好都市締結を記念し泉州市が中国産の輝緑岩に刻んで寄贈したものです。（古波蔵）

ご利用案内

○浦添グスク・ようどれ館

国指定史跡「浦添城跡」のガイダンス施設です。浦添グスクと浦添ようどれの発掘調査での出土品や戦前の写真パネルなどを展示しています。

【開館時間】午前9時～午後5時
【入館料】

大人（高校生以上） 1000円
小人（小中学生） 500円

※市内小・中学生は無料
【休館日】

月曜日（祝日は開館）・年末年始

【住所】〒901-2103

沖縄県浦添市仲間2-53-1

【電話】098-874-9345

【アクセス】

琉球バス交通 牧港線（55番）
仲間バス停から徒歩5分



【浦添グスク・ようどれ館】

浦添ようどれ墓室（西室）の原寸大の模型がみどころ。館内は、NPO法人うらおそい歴史ガイドが展示の解説も担当します。駐車場も完備しています（大型バスも対応可）。

○浦添大公園南エントランス展示コーナー

浦添グスクの南側入口にある県営公園の施設です。浦添グスクの模型のほか、グスクを紹介するパネルや出土品のレプリカを展示しています。入場無料ですので、お気軽にお訪ね下さい。

【開館時間】午前9時～午後5時

【入館料】無料

【休館日】

月曜日（祝日は開館）・年末年始

【住所】〒901-2103

沖縄県浦添市仲間2-53

【電話】098-876-3555

【アクセス】

琉球バス交通 56系統
浦添小学校前バス停から徒歩5分



【浦添大公園南エントランス展示コーナー】

施設の中には「うらおそい歴史ガイド」が解説員としておりますので、解説をご希望の方は気軽に声をかけてください。駐車場も完備しています（バス対応可）。

○浦添市歴史にふれる館

浦添の遺跡の出土品や民具を収蔵・展示している施設です。展示室では、縄文時代の土器から、戦前まで実際に使われていた道具などを展示しており、浦添の歴史を学習することができます。

【開館時間】午前9時30分～午後5時

（入館は16時30分まで）

【入館料】無料

【休館日】土日・祝祭日（慰霊の日）・年末年始

【住所】〒901-2134

沖縄県浦添市港川512-11

【電話】098-876-1234

内線（6216・6217）

文化課文化財係まで

【アクセス】

琉球バス交通 20系統他
第一牧港バス停から徒歩15分



【浦添市歴史にふれる館（やかた）】

平成28年2月にオープンした文化財の収蔵展示施設。収蔵室の一部も公開しています。駐車場も完備しています。

○うらおそい歴史ガイド
ツアー随時受付中です！

浦添グスクをはじめとした、市内の史跡や歴史スポットを有料でガイドします。

料金ガイド1名当り（20名まで対応可）
1時間 1,500円/2時間 3,500円

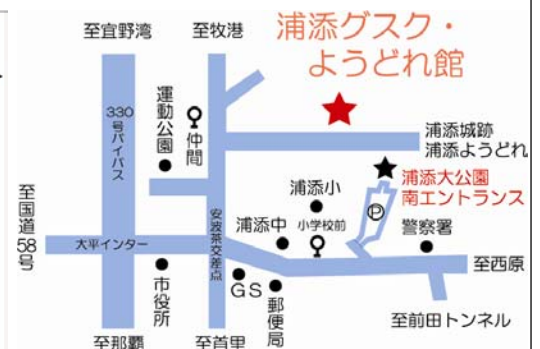
※県外の方は半額の助成があります

団体でのご利用や、コースや時間などは相談に応じます。お気軽にご相談下さい。

申込先 浦添グスク・ようどれ館
電話 098-874-9345



浦添市歴史にふれる館の地図



※仲間バス停から徒歩5分

浦添グスク・ようどれ館と浦添大公園南エントランス展示コーナーの地図